

農業に関する問題

① 次の文章は正子さんの夏休みの旅行をまとめたものです。それを読んであとの問いに答えなさい。

東京を出発し、しばらくは高層ビルや住宅が密集したところを走っていきました。2001年に県庁所在地名が変わった県で新幹線の路線が分かれました。さらに走りつづけると、都道府県の中では3番目に面積の大きい県の北部で、また分かれました。

私の乗車した新幹線は日本海の方へと進みました。終点からさらに乗りかえて、私はいとこの家に向かいました。いとこの家は農家で主に 米づくりと果樹栽培さいばいをしています。夜、おじさんが米づくりについて、次のようなことを話してくださいました。

『このあたりは耕地の整備が進められ、農家1戸あたりの面積が広くなり、機械も使いやすく、作業の能率のうりつもあがった。また、兼業農家けんぎょうも多い。気候も米づくりに適しているが、季節風によって運ばれてくる砂を防がねばならなかった。農業試験場では、冷害に強くおいしい米の品種の研究が進められている。「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」もそうやって生まれた品種である。おじさんの県では、「はえぬき」という品種が開発されて、とても評判が良い。これからは 環境にやさしくより安全な米を作ったり、輸入米と競争していくことも考えていかななくてはならない。』

私は東京もとに戻ってきてから、日本の米づくりや果樹栽培についての資料を集めました。

(1) 下線部 について、米づくりのときに必要な作業ア～エを順序どおりにならべかえなさい。

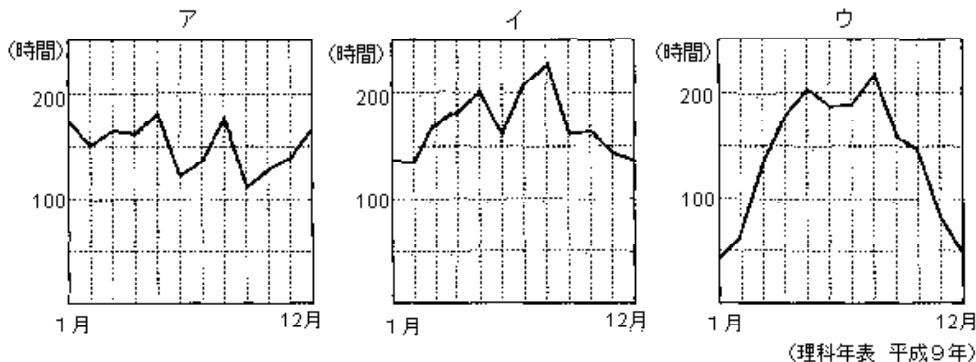
ア しろかき イ 田植え ウ 田おこし エ いねか 稲刈り

(2) 下線部 について、兼業農家が増えた理由としてちがうものを次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。ただし、すべて正しければ「エ」と答えなさい。

- ア 農作業の機械化によって人手ひとてが余ってきたから。
- イ 農家の主婦たちが働ける工場が増えてきたから。
- ウ 機械や農薬、肥料を買うため、現金収入が必要になってきたから。

(3) 下線部 について、いとこの家のあたりの月別の日照時間にっしょうのグラフとして正しいものを次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

月別の日照時間 (1961～1990年までの平均値)



(4) 下線部 について、砂を防ぐためにどんなことをしていますか、答えなさい。

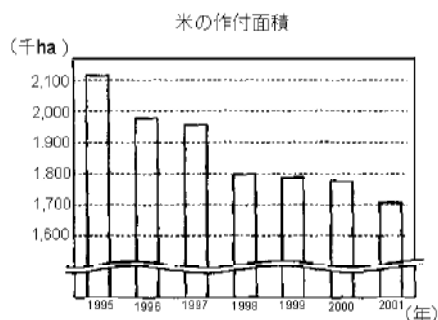
(5) 下線部 について、化学肥料や農薬にたよらず、たい肥などを使って作られた米を一般に何といいますか、漢字3文字で答えなさい。

(6) 下線部 について、外国からの米輸入量が年々増えていますが、その理由として正しいものを次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。ただし、正しいものがなければ「エ」と答えなさい。

- ア 日本国内の食料自給率低下の中で米の自給率も下がってきてしまったから。
- イ 日本と外国との取り決めで、一定量の米を毎年輸入しなければならなくなったから。
- ウ 外国の米は日本人の口に合い、たいへん人気があるから。

(7) 下の資料 を見ると米の作付け面積が大きく変化しています。こうした変化がおきた理由を答えなさい。

【資料】



(8) 次の資料 は、県別の果樹生産順位です。 , , の果樹名の組み合わせとして正しいものを下のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

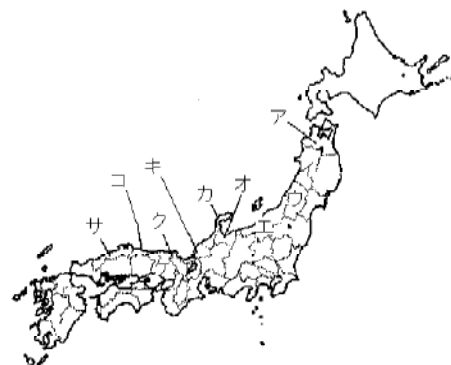
【資料】 県別の果樹生産順位(6位まで)

	青森県	福島県	長野県	山梨県	いとこの家の県
①	-	-	2位	1位	3位
②	1位	5位	2位	-	4位
もも	-	2位	3位	1位	6位
おうとう(さくらんぼ)	4位	6位		2位	1位
日本なし	-	4位	5位	-	-
③	3位	-	2位	-	1位

(日本国勢図絵 2002/2003)

- ア ぶどう りんご 西洋なし
- イ ぶどう 西洋なし りんご
- ウ みかん りんご 西洋なし
- エ みかん ぶどう りんご
- オ 西洋なし ぶどう みかん

(9) いとこの家は何県にありますか。県名を答え、その位置を次の地図のア～サから選び、記号で答えなさい。



(実践女子学園)

② わが国の農業に関するそれぞれの文の()の中から、正しいものを選んで記号で答えなさい。

- 1 米の品種に(ア コシヒカリ イ アキタコマチ ウ きらら エ ササニシキ オ フジ)はない。
- 2 米の輸出入について,(ア 凶作で米が足りない時だけ輸入する イ 古米・古古米だけは自由に輸出できる ウ 消費量のうち一定割合だけ輸入する エ 量や価格に関係無く自由に貿易する オ 生産量のうち一定割合だけ輸出する)ことが決められている。
- 3 農家一戸あたりの作物別収入で、一番多いのは(ア 米 イ 麦 ウ 畜産物 エ 野菜 オ 果物)である。
- 4 第二次世界大戦後に米の生産量が最高になった時期は,(ア 1950年代 イ 1960年代 ウ 1970年代 エ 1980年代 オ 1990年代)で、最近では減反などで減っている。
- 5 小麦は、米と同じように最近では生産量が減る傾向にあるが、その理由の一つは(ア 小麦の消費量が減っている イ 大麦の生産量が増えている ウ 小麦の生産量が多すぎて生産調整されている エ 小麦の輸入量が増えている オ 日本人が少食になった)からである。
- 6 明治時代の初めごろの農業人口は、働いている全人口の約(ア 99% イ 77% ウ 55% エ 33% オ 11%)であった。
- 7 農業人口は現在では、働いている全人口の約(ア 20% イ 15% ウ 10% エ 5% オ 1%)である。
- 8 食料自給率の最も高いのは(ア 米 イ 小麦 ウ 大豆 エ 野菜 オ 果物)である。
- 9 田植えと稲刈りは、手作業よりも乗用型田植え機やコンバインを使ったほうが、およそ(ア 2~3倍 イ 5~6倍 ウ 10~20倍 エ 40~50倍 オ 100倍)早く仕事ができる。
- 10 東京のおろしうり市場のキュウリの値段が、冬に高くなるのは(ア ビニルハウスものの入荷が増える イ 露地ものの入荷が増える ウ 消費量が多くなる エ 生産量が多くなる オ 輸送用トラックが交通じゅうたいにあうことが多くなる)からである。

(湘南白百合学園)

③ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

問 日本の食糧自給率は、主要先進国中、低い位置にあり、多くの食料を輸入にたよっているのが現状です。日本の食料輸入先を表している下の表を見て、あとの(1)~(2)の問いに答えなさい。

(1) 上の表の(A)と(B)に入る国名

	ロシア 8%					
魚介類	中国 16%	(A) 10%	タイ 7%	韓国 7%	その他 52%	
小麦	(A) 51%		カナダ 29%	(B) 20%		
大豆	(A) 73%			ブラジル 14%	その他 1%	
肉類	(A) 41%	(B) 13%	中国 9%	その他 16%		
	デンマーク 13%		カナダ 8%			
					中国 5%	カナダ 7%

の組み合わせとして正しいものはどれですか，下のア～エの中から1つ選んで，記号で答えなさい。

- ア (A) ドイツ (B) フランス
 イ (A) ブラジル (B) アルゼンチン
 ウ (A) アメリカ合衆国 (B) オーストラリア
 エ (A) アルゼンチン (B) ニュージーランド

(2) 次の食品の内，日本の自給率が最も低いものはどれですか，下のア～エの中から1つ選んで，記号で答えなさい。

- ア 魚介類 イ 小麦 ウ 大豆 エ 肉類

(富士見中学校)

4 下の表には，米の生産高が多い順に，上位三つの都道府県の耕地面積や米作りのようすが示されています。この表を見て，各問いに答えなさい。

(平成13年度・農林水産省資料ほか)

都道府県名	耕地面積(千 ha)	うち，水田率(%)	米の生産高(万 t)	米の生産額(億円)
A	182	88	65.2	2,133
B	1,185	20	64.2	1,721
C	155	85	52.9	1,458

問1 A～Cの都道府県名の組み合わせとして，正しいものを次の中から選び，記号で答えなさい。

- ア A 北海道 B 新潟県 C 秋田県
 イ A 新潟県 B 北海道 C 秋田県
 ウ A 秋田県 B 新潟県 C 北海道
 エ A 秋田県 B 北海道 C 新潟県

問2 Bは，AやCに比べて，なぜ水田率がきよくたんに低いのか，考えられることを一つ述べなさい。

問3 AとBを比べると，米の生産高はほとんど変わらないのに，なぜ生産額に大きな差が見られるのですか。考えられることを一つ述べなさい。

(多摩川学園中学校)

5 日本の農業や水産業について，あとの問に答えなさい。

問1 次の図は米作りの1年間を表しています。5の空欄はどんな作業ですか，下のア～ウの中から選び，記号で答えなさい。

- 1 種を選ぶ 2 苗を育てる 3 田を耕す 4 しろかきをする 5
 6 草取りをする 7 農薬や肥料をまく 8 稲かりをする

- ア 稲をかんそうさせる イ 田植えをする ウ もみすりをする

問2 下の表1を見て，米の生産量が35万トンを超える都道府県を後の日本地図に斜

線をひいて表しなさい。ただし，表し方は例のとおりに書きなさい。

表 1 都道府県別の米の生産量

県	生産量(トン)	県	生産量(トン)
北海道	75万9800	滋賀	19万400
青森	32万4200	京都	8万2300
岩手	31万4500	大阪	3万600
宮城	41万7700	兵庫	19万7400
秋田	54万300	奈良	4万5700
山形	42万5000	和歌山	3万7800
福島	39万3900	鳥取	7万7100
茨城	37万7700	島根	10万9400
栃木	32万4800	岡山	19万6200
群馬	8万7600	広島	14万5200
埼玉	16万9300	山口	13万1400
千葉	31万5700	徳島	6万9200
東京	996	香川	7万8000
神奈川	1万5200	愛媛	8万6100
新潟	61万1300	高知	5万4700
富山	21万4200	福岡	21万9300
石川	13万6300	佐賀	16万9800
福井	14万6400	長崎	7万3500
山梨	2万8500	熊本	23万2900
長野	21万7100	大分	14万700
岐阜	11万900	宮崎	10万2300
静岡	9万5600	鹿児島	13万6800
愛知	15万7900	沖縄	3020
三重	16万4900		

表 2

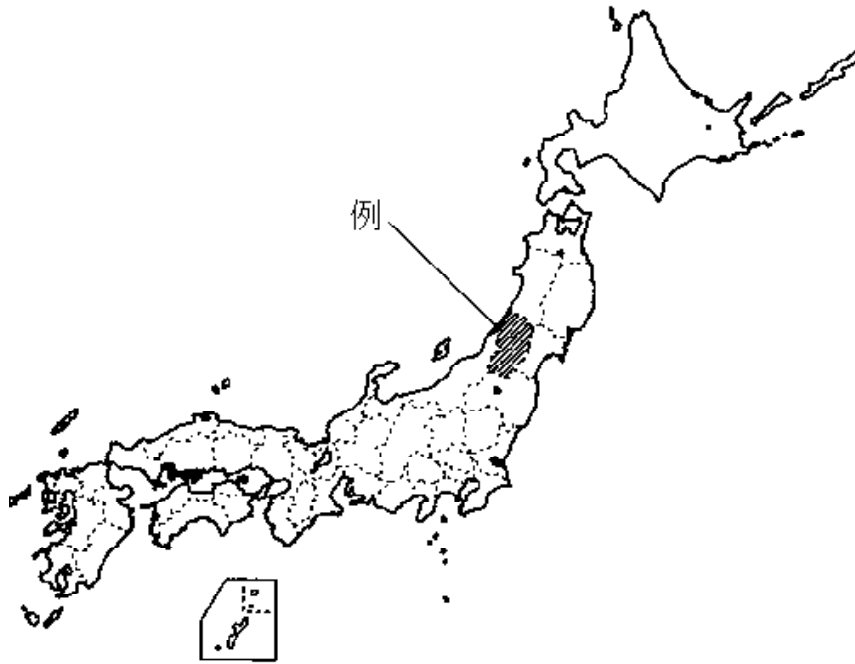
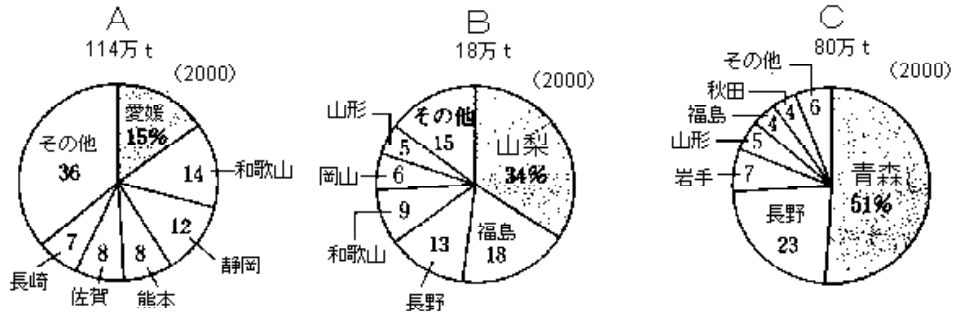
年	10a当たりの 生産量(kg)
1950	306
1960	377
1970	439
1980	423
1990 (平成2)	514

問 3 表 2 を見て10a当たりの米の生産量が増加している理由として，まちがっているものを，次のア～オの中から1つ選び，記号で答えなさい。

- ア たくさんとれるように，稲の品種改良を行ってきたから。
- イ 耕地整理や用水路などの整備が行われ，作業しやすくなったから。
- ウ 機械を取り入れて，便利になったから。
- エ 米の消費量が増加したから。
- オ 化学肥料や農薬を使うようになったから。

問 4 次のグラフ A～C はどのような農産物の都道府県別生産量を表していますか。下のア～エの中から1つずつ選び，それぞれ記号で答えなさい。

- ア もも イ 茶 ウ りんご エ みかん



(茗溪学園)

農業に関する問題 解答

1

- (1) ウアイエ (2) イ (3) ウ (4) 植林をして、防風林をつくった。
(5) 有機米 (6) イ (7) 米が余るので、減反するようになったから。
(8) ア (9) (県名)山形県 (位置)ウ

2

- 1 オ 2 ウ 3 ア 4 イ 5 エ 6 イ 7 エ 8 ア
9 イ 10 ア

3

- (1) ウ (2) ウ

4

問1 イ

問2 緯度が高く、気温が低い。火山灰の土地が多い。丘陵の多い地形。

問3 Aは新潟県で、コシヒカリに代表される価格の高いブランド米を生産しているから。

5

- 問1 イ 問2 下の図 問3 エ 問4 Aエ Bア Cウ

